発行元:　長住建設株式会社　　第21号　平成21年7月21日　発行

ながじゅう 倶楽部通信 No.21

NAGAJYU

・・・・・目　　次・・・・・

表面
・バスツアー報告
・木の香まつりのご案内
・繁盛店紹介（長浜自動車学校様）
・竣工報告
裏面
・お客様紹介（長浜市／田辺様）
　　（高月町／高橋様）
・専務のひとり言
・長浜北星高校職場見学
・社員紹介
・あとがき

ＨＰ　（「ながじゅう」で検索）
http://www.nagajyu.jp
BLOG
（HPのスタッフブログをクリック！）

木の香まつりを開催します！

8月23日(日)　雨天決行！

AM10：00～PM3：30　本社前駐車場にて

去年の木の香まつりの様子

お客様のご愛顧と地域の皆様への日頃の感謝とお礼の気持ちを込めて、今年も「第６回木の香まつり」を開催させて頂きます！
毎年大盛況のビンゴゲームや木工教室、フリーマーケットや飲食コーナー、ストリートダンス、チンドン演奏のステージイベントに加え、今年は新たに「よさこい鳴子踊り」、「昔なつかしいポン菓子」で会場を盛り上げます。
ぜひ、ご家族やお友達と揃ってお越し下さい。

ＩＮＡＸトステムショールーム岐阜 見学バスツアーを開催しました！

６月７日(日)に、INAX トステム岐阜ショールーム見学バスツアーを開催しました。初めての試みで何かとご不便があったかとは思いますが、ご一緒して下さった皆様、本当にありがとうございました。

ショールーム見学の様子

↑集合写真
↓キッチンセミナー

今後もこのような皆様の住まいのヒントを見つけて頂ける様な企画を考えていますので、どうぞお気軽にご参加ください。

繁盛店紹介 長浜自動車学校さん

今回取材させて頂いた長浜自動車学校さんは、昭和３８年に創立し交通安全教育専門学校として滋賀県知事認可を受けた歴史と伝統ある、滋賀県公安委員会指定の自動車教習所です。校舎は、約１５年前に長浜市田村町の湖岸道路拡幅工事により、現在の長浜市加田町に移転されたことから、勉学の立地条件も良く、清新な校舎や最新設備、広大な技能教習コース等を持ち、県内でも「優秀な教習環境の整った学校」として評判の高いところです。

昨年の９月に、長浜自動車学校さんの「いつも人に優しく」という校訓に感動し、教場、ロビー、トイレ等のバリアフリー化をさせて頂きました。

学科教習の様子

同校は、現在までに約６万人の卒業生を送り出し、本年から大型第二種免許の指定前教習をしておられ、まもなく（秋頃）全免種が取得できる総合教習所に生まれ変わられます。そうなると、普通免許だけでなく、大型、中型、普通二輪、大型二輪、大特、けん引、普通第二種、大型第二種、各種限定解除と、幅広く免許が取得できる魅力が加わることになります。卒業生数から見ても、皆さんのご両親、お知り合いの方も長浜自動車学校さんの卒業生の方が多いのではないでしょうか。

さらに、初心運転者講習、取消処分者講習、高齢者講習、各種免許取得時講習、社員（地域）教育など県（市）民のあらゆる要望に応え、真に地域交通安全教育センターとしての役割を遺憾なく発揮されており、特に高齢者講習は年間千数百人と県内一多い受講者となっているので、皆さんの周りにも免許更新時（７０歳以上）に受講された方が大勢おられると思います。

理事長の井上勝行さんは、米原市の出身で（社）滋賀県指定自動車教習所協会会長、㈱ケーアイグループ社長、日産プリンス滋賀販売㈱会長等、多くの役職に就かれ、地元をこよなく愛し、特に永年交通産業に携わってこられた経験から、社会奉仕と交通安全活動を通じて地域社会への貢献に情熱を捧げておられます。

井上理事長

理事長さんに、長浜自動車学校の特徴等をお聞きしますと「すべは安全のために！皆さんにご満足をいただく」と、校風お話くださいました。

～いつも心にブレーキを！
かけがえのない尊い人生のために！～

平成２０年、滋賀県では交通事故の死傷者数が１１，７３０人となり、うち７９人の方々の尊い命が失われました。死者のうち、高齢者（６０歳以上）は５２％に、次いで若者（１６～２４才）が１５．２％となっています。

この厳しい交通環境の実態を重く受け止め、当校では今後とも“安全マインド”を最優先する指導・教育を行っていきます。皆さんが交通ルールを遵守し、自分の身・他人の身に優しさのある運転を行う、正しい「交通社会人」となれるよう、学科・実技両面に徹底したサポートをさせて頂きます。

～教習設備の充実に力を入れており、
実技で体感していただきます～

◎教習では、安全機能を備えた車両を使用しています。
◎技能教習では、全指導員がハンドモニターを使用し、あらゆる道路での運転方法を説明し、その場で詳しくフォローします。
◎スキッド・カーで、雪道・雨に濡れた道路での車体急旋回を疑似体験できます。

～皆様に喜ばれ、愛される魅力ある
学校になるため努力を続けます。～

皆様に親しまれ、愛されるよう全社員一致団結し、奉仕の精神のもとに地域社会への貢献に、さらに努力を重ねて行きます。

歴史や校風をインターネットで見ると、「貴男の都合と貴女の視点で教習環境を整えるオンリーワン（貴方が主役）の教習所です。」と書かれているのも納得ができます。運転免許で迷った時は、一度ご相談されると早い解決になるでしょう。

広々としたゆとりのあるコース

住　所
長浜市加田町９５０
ＴＥＬ
０１２０－０３－３７３９
０７４９－６２－２６０１
ＨＰ
http://nagahamadrivingschool.co.jp/

無事お引渡しさせて頂くことができました！

新　築

●長浜市祇園町	Ｋ様邸
●長浜市新庄中町	Ｎ様邸
●米原市春照	Ｔ様邸

リフォーム

●高月町東阿閉	Ｈ様邸
●米原市村居田	Ｔ様邸
●米原市寺倉	Ｋ様邸
●長浜市勝町	Ｈ様邸
●虎姫町大寺	Ｔ美容室様
●長浜市十里町	Ｉ様邸
●長浜市七条町	Ｋ様邸
●長浜市大東町	Ｎ様邸
●米原市能登瀬	Ｍ様邸

ちょっとした改修工事から、新築・大規模なリフォームまで幅広く対応させて頂いておりますので、何でもお気軽にご相談ください。

裏面につづきます･･･

母屋全体が傾いていたり、シロアリ被害などで、補強しなけ

お客様紹介
新築・スタイリッシュハウス

田辺　直樹　様
由美子様
士悠汰　君
胡々美　ちゃん
ご家族

今回取材させて頂いたお客様は、長浜市宮司町にお住まいの田辺様ご家族です。奥様が、当社の協力業者でもある大工さんと親戚という事もあり、湖北町の新築工事中の現場を見て頂いたのがきっかけで、当社を信頼して頂き、家づくりのお手伝いをさせて頂きました。

お子様が小学生になられる事や、当時住んでおられたアパートの更新日が近かったことなどから、既に購入しておられた土地に新築させて頂きました。

士悠汰君の部屋

当社の印象を伺ったところ、「まず、礼儀が正しい！打合せの度に感心していました。子供の面倒もしっかりと見て頂けて打合せもスムーズに進み、とても助かりました。子供も遊んでもらえるのが楽しくて、いつも付いて行きたがっていました。」と奥さん。

ご主人は、「営業の早崎さんの対応がしっかりしていて、連絡も直ぐとれるし、たくさんの提案もして頂けてとても良かった。設計の一居さんとのコンビも最高でした！」とおっしゃって頂きました。

工事中は新居が気になって、何度も現場を見に来ておられた御主人。「上棟の時は感動しました。柱の太さが普段よく見かけるものとは全く違い、木に詳しい父もこれなら安心だと言っていました。」と、お父様の太鼓判まで頂きました。

実際の出来上がりも満足して頂けたようで、色決め担当だった御主人は「何色が良いかすごく迷ったのですが、イメージ通りの仕上がりで大満足です。」との事でした。白ベースでとても明るく、居心地抜群のＬＤＫはご主人のセンスが光っています。ご家族みんなが自然と集まり、最高の団欒場所になっているそうです。

広々としたＬＤＫ

もうひとつのお気に入りは、シュークローク。見学会でご覧になられ気に入られました。玄関にある扉を開けるとシュークロークになっており、ホールとつながっているので、ご家族はそこから出入りすることによって、玄関は常にきれいな状態にしておく事ができると言う訳です。「これは本当にして良かったです。夫婦共働きなので、すごく助かっています。」とおっしゃって頂けました。でも今はまだ、お客さんがいらしたとき玄関にあるドアが気になってよく開けられてしまうそうです。(笑)

工事の前にはまだお腹の中だった娘さんも、お兄ちゃんになった息子さんも大きくなられていて、お子様の成長の早さに驚きました。これからもご家族仲良く過ごして頂きたいと思います。

シンプルモダンの外観

お客様紹介
思い出の詰まった家・リフォーム

高橋　正邦様邸
ご夫妻

今回取材させて頂いたお客様は高月町高野にお住まいの高橋様です。高橋様とは７年程前から、長いお付き合いをさせて頂いております。今回は当時の事を思い出して頂きながら、お話をお聞きしました。

きっかけは、当社の相談会にご来場いただいた時に、奥様がショールームのキッチンを見て、リフォームを真剣に考えるようになったからのことでした。

ご主人のお父様が建てられた今のお家はとても趣があり、思い出も詰まっているので大切に使いたいと言うご夫婦の想いもあって、いいものは残しながら、使い勝手を考えたリフォームをさせて頂きました。

ダイニングから見える庭と塀

一度目の工事ではキッチン、お風呂のリフォームを。次は、ダイニングから眺めるお庭と塀。去年は応接間や子供部屋等のリフォーム。つい最近はトイレの故障に伴い、取り替えさせて頂きました。その他にも、おじい様おばあ様の防犯のため、カメラ付インターフォンを取り付けるなど、何でもご相談くださり、私たちも本当に感謝しています。

当社に何度も頼んでいただける理由をお伺いしたところ、「何より、皆さん話やすくて気楽に何でも頼めるのが良いです。何か気になることがあれば直ぐに対応してもらえるところが決め手です。営業の方も工務の方も自分たちでは気づけないプロ視点のアドバイスをしてくださるのがありがたかったです。」と言って頂けました。嬉しいお言葉、本当にありがとうございます。

実際お住まいになられての感想をお伺いしたところ、「工事の度に家が良くなって、便利さを実感しています。昔の家の雰囲気はそのままでも、ちょっとした動線や設備の違いですごく変わりますね。憧れの対面キッチンにもしてもらえたし、そこから見えるお庭と塀もすごく気に入っています。井戸を黒くして欲しいなど難しいお願いにも答えてもらえて、本当に大満足です。」とおっしゃって頂きました。

長い取材にお付き合い頂き、ありがとうございました。今後もいつでも何でもご相談お待ちしております。

猫の「テトちゃん」

ネコちゃん専用の
通り道もちゃんとあります♪

長浜北星高校の生徒さんが、職場見学に来られました！

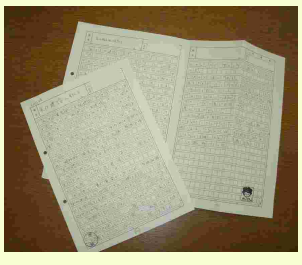
５月１３日、１５日の２日間にわたり、長浜北星高校の生徒さん（１年生）が職場見学に来られました。

この職場見学は『産業社会と人間』のという授業の一環として、職場体験を通じ職業観の育成や礼儀等のマナーを学習することを目的とされています。

職場見学では、専務による社会人としての仕事の話、営業企画部による当社の実際の仕事、家づくりについての説明をしました。見学に来られた生徒さんがみんな熱心に私たちの話を聞いてくれている姿に感心しました。

↑真剣に話を聞いている生徒さん

←ショールーム案内の様子



＜生徒さんの感想文より＞
夢中になれる仕事を見つけるために今、なりたい自分をイメージすることも大切という事を学びました。だから、コツコツ地道でもいいから努力すればなりたい自分に必ずなれるんだと思いました。

☆社員紹介☆

新入社員の村上文乃（むらかみあやの）です。

私が入社してもうすぐ丸４ヶ月が経ちます。入社前は「長住はとても厳しい会社らしいよ」と周りから脅されていました(笑)。ですが、いざ入社してみると、社長をはじめ先輩方も皆さん優しく、仕事だけでなく色々な心配りまでしっかりと教えて頂け、良い環境で働くことができ、毎日がとても充実しています。

まだまだ勉強中ですが、これからもたくさんの事を吸収していきたいと思っています。どうぞ皆さん宜しくお願い致します。

『自己矛盾』
～天に唾すれば自分の顔に降りかかる～

この文章を書く時は、その時期印象に残ったことや自分の思う事を思いのまま書かせて頂いております。ですので、私自身以前のものを読み返してみると、「こいつはこんな事書いとったのか！」とまるで人ごとのように読み返すことがあるのですが、書いたことを忘れていたり、基本的な思考は成長してないな…と反省する今日この頃です。

最近気になる言葉は「自己矛盾」です。たまたまですが仕事の際に２～３名の方から私の言った事を「それって自己矛盾ですよね」と返され、それ以後気になっていました。

辞書には「論理や実践において、自己の中に自己を否定するものを含んでいること」とあります。

言葉を変えると「嫌なのにしなければならない」「したくないのにしてしまう」とか「一方のことを頑張ることがもう一方のためにならない」といったことでしょうか。私自身理屈っぽく、体育会系の半面論理的でなければ納得しない性格で、少し調べました。すると私が学ぶ盛和塾の京セラフィロソフィで同じような意味の言葉があることを思い出しました。

【大胆さと細心さをあわせもつ】

『大胆さと細心さは相矛盾するものですが、この両極端をあわせもつことによって初めて完全な仕事ができます。この両極端をあわせもつということは「中庸」をいうのではありません。ちょうど綾を折りなしている糸のような状態をいいます。縦糸が大胆さならば横糸は細心さというように、相反するものが交互に出てきます。大胆さによって仕事をダイナミックに進めることが出来ると同時に、細心さによって失敗を防ぐことが出来るのです。

大胆さと細心さを最初からあわせ持つことは難しいですが、仕事を通じていろいろな場面で常に心がけることによって、この両極端を兼ね備えることが出来るようになるのです。』

経営は自己矛盾の典型です。優しさと厳しさ、温情と非情、清と濁、本音と建前、やり甲斐とやらされ、論語とそろばん、顧客満足と会社満足…　このバランス感覚なのでしょうか。

例えば内部告発というもの自己矛盾の典型です。告発しても誰も喜ばない。しかしおかしいと思う事がおかしいと言える雰囲気にないほど組織が病んでいる。だから告発しか手段がない、ということですもんね。（これはガラス張りの経営をすれば起こり得ないことですが。）

だから近江商人は、常に「正しさ」を忘れないように「三方よし」の精神を大切にしてきたのかと思います。

しかしながら、仕事であれ、家庭であれ、生活であれ、頼もしい人間になるためには、この相反する両極端を併せ持ちながら自己矛盾なく機能させることが必要です。私もそうなれるよう、心がけていきたいと思います。

専務取締役　松居　慶浩